

2016年度

(自：2016年4月1日 至：2017年3月31日)

**NPO法人 復興支援ネットワーク・フェニックス
活動計画書**



<http://phoenix-hanabi.jp>

I 設立趣旨・目的

この法人は、新潟県中越大震災などの自然災害により甚大な被害に遭遇した地域及び住民のために、復興を支援する様々な活動を行い、ネットワークを創り、全国へ向けて伝えることによって、新潟県全体の経済を活気付け、活性化し、観光産業を軸にして、新しいブランドの創設を図り、地域経済の発展に率先して貢献する事を目的とする。

訪れる人にとって魅力的な街であること

それは、子どもたちが誇りをもって暮せる街

そして、創り出せるのは唯一我々大人たちの思いから・・・

II 活動概要

1) 「長岡花火ブランド戦略プラン推進事業」

長岡花火ブランド戦略プラン 基本理念 <長岡の誇りを次世代に>

未来を担う次の世代に、長岡市民の誇り、宝である「平和を祈る長岡花火」の想いや物語をしっかりと伝えていくとともに、長岡花火ブランドの価値をさらに高めていくための戦略が求められます。

そこで、戦略プランの策定においては、「長岡の誇りを次世代に」を基本理念とし、「長岡花火の裾野の拡大（ひとづくり）」と「長岡花火ブランドの磨き上げ」という2つの観点のもと、4つの戦略（Action Plan）を官民一体となって、積極的に進めていきます。

- ・ Action 1 長岡まつり大花火大会のさらなる深化
- ・ Action 2 長岡の誇りを伝える活動の強化
- ・ Action 3 発信力の強化
- ・ Action 4 組織力の強化

さらに、長岡花火が長岡市のブランドリーダーとなり、魅力ある地域資源を繋ぎ、「オール長岡」としての魅力を高めていきます。

(1) 長岡花火ブランド推進委員会への参加・協力

長岡花火ブランド推進委員会に参加し、協力し、長岡花火ブランド戦略プランに基づき、積極的に事業を推進していきます。

- ① 未来を担う子どもたちが「世界に誇れる長岡花火」を胸に成長するまちの実現
 - ・ これまで各団体が取り組んできた普及啓発活動の連携・強化
 - ・ さらに活動団体の輪を広げ、発信力の強化
- ② 長岡市最大のブランド「長岡花火」の資産価値の最大化による「平和の花火のまち長岡」の実現
 - ・ 花火大会自体のブランド発信力の強化
 - ・ 新たなブランディング戦略の提言・実践

2) 「花火打上支援事業」(大イベントを全国へ発信して地域を活性化する)

2005年8月以来、11年間、2004年10月の新潟県中越大地震からの一日も早い復興を祈願し、またご支援いただいた多くの方々への感謝のシンボルとして、「復興祈願花火フェニックス」と題し、世界一として誇れるような壮大な規模の花火打上げを実現することができました。

この花火を復興のシンボルとして、新潟県中越大地震などの自然災害により甚大な被害に遭遇した地域及び市民のために、復興を支援する様々な活動を行い、ネットワークを創り、全国へ向け「支援に対する感謝」「復興への思い」を伝えることによって、新潟県全体の経済を活気付け、活性化し、観光産業を軸にした、新しいブランドの創設を図り、地域経済の発展に率先して貢献することを目的とします。

そして、本年は、「長岡まつり花火大会会場」での「復興祈願花火フェニックス」の打ち上げを実現させることはもとより、終戦翌年より開催された長岡復興祭から70年目の節目の年であるこの年に長岡から世界に平和への祈りと未来を担う子どもたちが「世界に誇れる長岡花火」を胸に成長できるまちの実現に向け、新たな企画、取組みにもチャレンジし、実現させたいと思います。

「復興祈願花火フェニックス」のネットワークを構築し、日本・世界における復興「ブランド」に育てていきたいと思ひます。「復興祈願花火フェニックス」を通じて、人と人、地域と地域が、結びつきを育み、今、この苦難の時こそ、絆を信じて、全国に支援の輪を広げていきたいと思ひます。

(1) 長岡まつり協議会 フェニックス部会 事務局業務

- ① 復興祈願花火フェニックス打上(長岡・ホノルル)事業支援
- ② フェニックス花火協賛金募集活動及びフェニックス花火の企画支援
- ③ オフィシャルガイドブック製作支援
- ④ フェニックス席設営・運営支援
- ⑤ 長岡まつり安全対策業務支援

(2) 街頭募金、フェニックス席設営などによるボランティア支援・育成活動

- ① (一社)長岡青年会議所の皆さんをはじめ、学生ボランティアの皆さんに行っている7月毎週末に行われるフェニックス花火の街頭募金活動や8/2・3長岡まつり大花火大会フェニックス席での設営活動
- ② 活動を通じて社会・地域に貢献できる人材の育成

(3) 長岡まつり大花火大会及びフェニックス花火の広報、PR活動

- ① 長岡まつり大花火大会の宣伝及び総合案内
- ② フェニックスビジョンの活用
- ③ 長岡まつり花火記録アーカイブ事業

(4) オフィシャルガイドブック・DVD・記念誌などの長岡まつり協議会商品販売及びフェニックス花火協賛金の募集・管理

3) 「フェニックスプロジェクト」事業

<目的>

10年20年先の長岡に向け、地域の子どもたちが誇りを持てるような未来を創り、震災の経験と教訓、感謝の気持ちを多世代に伝え、次世代に引き継ぎ、「フェニックス」という言葉に託された想いを伝えるため、地域の市民団体と協力し、事業を継続的に行っていきます。

「一人一人の力は小さくとも、それがまとまれば大きな力になる。」災害を経験し、復興を果たした我々だからこそ、それを伝えていくことができます。そして、これからも長岡の先人たちにない、今の時代を生きる大人として、地域のために尽くす姿を、未来を担う子どもたちに見せていきたいと思えます。

震災から築いてきた市民協働、官民連携のスキームは、これからの長岡のまちづくりに大きな力となるものと確信しています。そのさきの未来へ向け、「フェニックスプロジェクト」は全国へ、そして未来へ、子どもたちが誇りを持って暮らせるまちを目指します。

<キャッチフレーズ>

「たくましく前へ、長岡 ～そのさきの未来へ～」

<コンセプト>

生まれ育った長岡を子どもたちが誇りをもって暮らせるまちづくり
経験と教訓の「伝承」 誇れる街の姿を全国へ「発信」

<ロゴマーク>



(1) フェニックスフェスティバル '16 開催への協力

<開催趣旨>

震災から11年、長岡市は復旧と復興に全力で駆け抜けてきました。これにより積極的に行動し、活動する市民や市民団体が増え、長岡の発展や地域の活性化につながってきていると感じています。これからも地域に人々や特に地域の子どもたちが誇りを持てるまちづくりを行っていきたくと考えています。その一環として本物の音楽、文化、アミューズメント等を地域の未来を担う子どもたちや若者たちに体感してもらい、夢や希望を持てる事業を継続的な形で展開できるよう行政や他の市民団体と一体となり進めていきたいと思えます。

<事業概要>

○ フェニックス音楽祭

日時 2016年10月23日 15:00 開演予定

会場 アオーレ長岡アリーナ

内容 沢田知可子 稲垣潤一 岡本真夜 (予定) による音楽ステージ

○ こどもフェニックス塾

日時 2016年12月25日 (予定)

会場 アオーレ長岡アリーナ

内容 こども向け地域啓蒙ステージショー

○ みらい夢ひろば

日時 2016年12月初旬～12月末

会場 アオーレ長岡内

内容 子供向け体験型アミューズの開催

(2) 地域で活動する市民団体との情報共有と発信および連携強化

(3) 広報PR活動 メディア対応・調整

4) フェニックス・ネットワーク事業 (交流により地域を活性化する)

長岡市をはじめ、新潟県の新しい魅力を創造・発信し、交流人口の拡大を図るため、歴史、文化、自然、産業などの様々な地域資源を生かした、多様な地域間の交流を推進し、更に地域交流の活性化を図るため、地域の多様な魅力を県内外に発信するため、各地域の方々とのネットワークの一層の充実を図ります。

また今後、都市間競争が本格化する中、明確な個性や強みを打ち出せない地域は埋没することも予想されます。長岡市内の合併地域をはじめ、県内の各地域の魅力や多様な地域資源を一体(ネットワーク)となって広く発信(シティプロモーション)し、各地域の都市ブランドを一層高められるよう事業を推進します。地域社会が抱える課題は、近年ますます、複雑・多様化し、従来の行政サービスだけでは十分に対応できないケースが増加しています。地域の課題を解決するには、市民自らが組織したNPOや地域活動団体などの活動が重要となってきています。

市民活動と行政が対等な立場でそれぞれの役割を明確にしなが、協力・連携する「市民協働」による「まちづくり」を推進してまいります。

(1) 復興・地域活性化を祈願する各地での花火打上事業

本年度打上予定：ホノルル、見附、寺泊、新潟、小国

各地 主管団体：フェニックス見附、フェニックス寺泊

フェニックス新潟(みんなの花火打上実行委員会)

(2) 地域間交流とネットワーク化の推進事業

① 長岡市内の合併地域をはじめ、県内の各地域で活動するNPOや市民活動団体と連携・交流を図り、観光、芸能文化、スポーツ、産業などそれぞれのまちづくりを支援し、相互のネットワークを強化し、人々の交流や地域の情報の発信力を高めます。

② NPO法人キズナの森との交流・連携

「キズナの森フェスタ」への協力・支援

(3) 市民協働による活力あるまちづくり事業

① 協働を担う人材の育成

② 市民力・地域力の活用と市民活動の促進

③ アオーレ長岡を活用した事業

④ NPO法人未来創造ネットワークと市民協働推進会議への参加

5) プロジェクト事業 (未来に向けたひとづくりや地域資源の活用による地域活性化事業)

ふるさとへの愛着と誇りを持ち、地域の未来を担う柔軟でたくましい人材や郷土愛と志を抱き国際社会に羽ばたく人材を育てるとともに、まちづくりや地域活動のリーダーを育成します。

また、長岡市には長岡花火をはじめ、歴史、文化、自然、景観、特産物など多くの地域資源があります。これらの地域資源を発掘し、磨き上げ、発展させることにより地域の魅力や価値の向上を図り、更なる地域の活性化を目指します。

- (1) フェニックスカップジュニアバレーボール大会
バレーボールを通じて児童の親睦と交流を図り、バレーボールによる小学生の体力向上とたくましい意欲の養成に努めます。
- (2) 地域資源の活用による地域活性化事業
今や長岡のご当地グルメとして定着した「洋風カツ丼」や「生姜醤油ラーメン」の取り扱い店マップを製作し、地域内外への情報発信を図り、「食」による地域活性化を進めます。

6) 中心市街地活性化事業 (まちなか賑わい創出事業)

- (1) まちなか情報発信事業
大手通の情報交流館「まちこい」(NPO事務局)に来街者と人・まち・情報・地域等をつなぐ“まちのコンシェルジュ”を新たに配置し、まちなかの様々な情報発信事業を実施します。
- (2) 大型LEDビジョン「フェニックスビジョン」を活用した情報発信事業。長岡まつりやホコ天等、中心市街地でのイベントでの活用やアオーレ長岡の大型ビジョンとの連携・活用についての検討を図ります。
- (3) 中心市街地活性化するための事業・インフラ整備の提案

7) エンタープライズ事業 (地域独自の商品開発、販売事業により経済を活性化する)

復興支援及びフェニックスプロジェクト関連商品を企画・開発・販売し、収益をフェニックス花火打上費用として長岡まつり協議会へ協賛すると共に自主事業に充当いたします。

- (1) 情報交流館「まちこい」での販売
- (2) フェニックス画像、映像使用商品の開発、販売(カレンダー・DVD発売中)
- (3) フェニックス自動販売機事業(協力:キリンビバレッジ株)
- (4) 花火協賛シール製作・販売

8) 委託運営・ソリューションサービス事業

市民、行政、企業が求めるサービス・事業が多様化する中、様々な業務上の問題点の解決や要求の実現を行うための事業の受託やより効果的なシステム開発・構築を行います。多様化するニーズによる「新しい公共」のサービスを提供し、市民協働の礎となる活動を行います。

(1) 長岡花火普及啓発事業

① ながおかミニ花火ミュージアムの運営。

正三尺玉、尺玉等の花火玉、花火筒原寸レプリカの展示や、50インチハイビジョンモニターでの長岡大花火大会の上映など長岡花火の歴史や情報を発信します。

② 長岡まつり協議会ホームページ運営委託事業をはじめ、情報交流館「まちこい」にて長岡花火や長岡まつりの情報発信や観光客からの問い合わせに対応します。